

学位論文審査の概要

| | | | |
|------------|---------|----------|------------------------|
| 博士の専攻分野の名称 | 博士 (医学) | 氏名 | Chandika Damesh Gamage |
| | 主査 | 教授 寺沢 浩一 | |
| | 副査 | 教授 玉城 英彦 | |
| 審査担当者 | 副査 | 教授 有川 二郎 | |
| | 副査 | 教授 上田 哲男 | |
| | 副査 | 教授 藤田 博美 | |

学位論文題名

Surveillance and Epidemiology of Leptospirosis among Humans and Animals in Sri Lanka: Search for Important Reservoirs

[スリランカにおけるヒトおよび動物のレプトスピラ症に関する疫学調査:
保菌動物の特定に向けて]

レプトスピラ症は世界規模での公衆衛生上の課題であり、媒介動物とヒトの接触機会、社会経済的、あるいは気候条件によって左右される。本研究では、スリランカにおいて伝搬しているレプトスピラの種と血清群の同定、乳牛や家屋周囲に生息するげっ歯類におけるレプトスピラ有病率、保菌状況の推定、さらにレプトスピラ感染の疑いのある患者でのハンタウイルス感染の鑑別診断を実施したものである。

質疑応答では、副査の上田教授より、伝染性レプトスピラのヒトへの感染における、直接感染および間接感染の割合について、藤田教授より、本研究に対する申請者の寄与率について、有川教授からは *Sejroe* と *Icterohaemorrhagiae* の血清群の類似性についてなど、主査の寺沢教授からは、この疾病のグローバルな重要性について、最後に副査の玉城教授から、本研究を実施した地域の人々に対して、この成果をどのように還元させようかについての質問がなされた。

申請者は、それぞれの質問の重要性を的確に理解し、本研究の成果の引用、およびこの疾病に対する国際的な、またはスリランカ国内での疫学的課題の提示を含め、的確に答えた。

審査担当者一同は、申請者の審査員一同は、これらの成果を高く評価し、大学院課程における研鑽や取得単位なども併せ申請者が博士 (医学) の学位を受けるのに十分な資格を有するものと判定した。